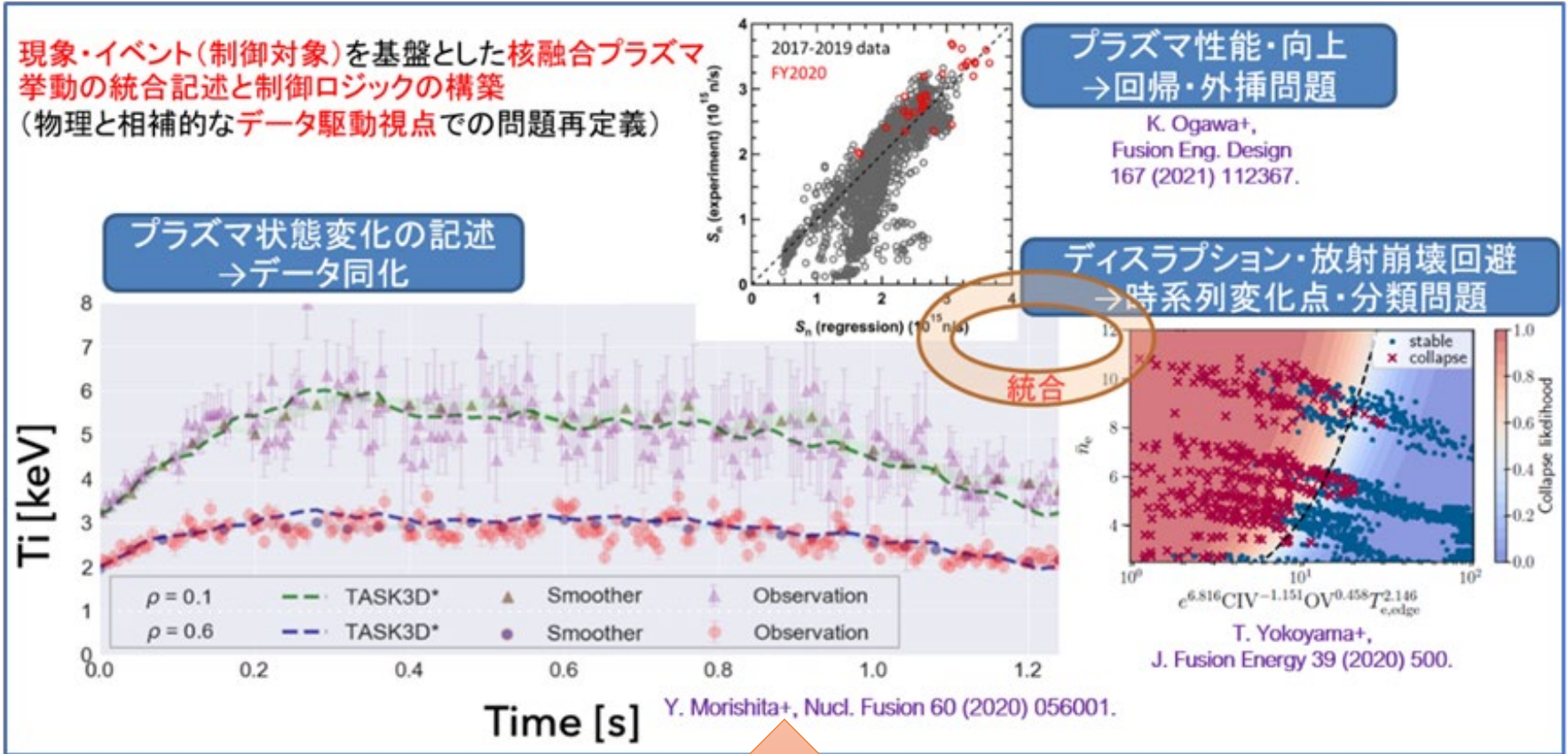


講演者の視点でデータ駆動アプローチの大きな可能性を述べるが、プラズマ物理に基づく従来研究を否定するものではなく、それと相補的かつ研究の拡がりをもたらす考え方であることを特記しておきたい。また、海外でも多様な研究が行われているが、本講演では主に日本における取り組みへの言及から、新たな研究構想「データ駆動アプローチに基づく核融合プラズマ挙動の統合記述と制御ロジックの構築」を提案したい。なお、本講演での「データ駆動」は、主に、「データへの当てはめ」を基本とする統計数理の考え方を意図している。



多様な現象に関する研究を行っている核融合研究者や、データ駆動手法の開発・適用に関する学界・産業界の皆様との協働のきっかけになれば幸いである。